

淡路市ひきこもりサポーター 養成講座のご案内

◎ひきこもりサポーター養成講座とは？

ひきこもりについて正しく理解し、「ひきこもる人」への偏見や差別意識を払拭し、“正しく理解し共感的に受け止める”事が共有できる機会になることを目指し実施します。

◎どんな地域や団体で開催できるの？

民生委員・まちづくり協議会・ボランティアグループ等の団体、少人数での集まり等お気軽にご相談ください。

会場は主催者側でご用意ください。

◎所要時間：45分～60分程度

◎費用：無料

◎内容：「ひきこもりについて」「地域ぐるみでかわるために」等についてテキストを活用してすすめます。受講修了者には、「ひきこもりサポーターの証」のバッジをお渡しします

◎申込み・問い合わせ 社協 いわや
TEL 72-0084

令和6年度新規採用者募集中

雇用形態 正規職員
対象者 年齢 35歳未満 (R6年4月1日時点)
学歴 高校卒業(見込み可)以上
資格 自動車運転免許
社会福祉士・受験資格者 優遇
試験時期 令和6年1月予定(筆記・面接)

パート・嘱託職員募集中!!

◎令和6年4月勤務開始希望の方もご相談ください!!

②～⑤ 時給 1,037円～ 資格所有者優遇!!
(ヘルパー1,087円・介福1,107円)

- ① (障がい者) 相談支援員専門員【嘱託/正規】
※本会規定による
- ② デイサービス介助員【嘱託/パート】(北淡)
※介護福祉士優遇
- ③ 障がい福祉(作業所・生活介護)【嘱託/パート】
- ④ ケアマネージャ【嘱託/パート】
- ⑤ グループホーム支援員【パート】夜勤有(津・東)
学生さん歓迎!! 21:00～翌 9:30 までの間で応相談
(1回~/週)

業務内容等、お電話でお気軽にお問い合わせ下さい
淡路市社協 淡路市志筑3119-1(履歴書送付先)
なぎ、やまさき TEL 62-5214

『不要なお皿の買取りのほずが貴金属を買取られた!! 訪問購入のトラブルが増えています』



『来訪を承諾した購入業者に貴金属を強引に買取られ、クーリング・オフ期間内なので「クーリング・オフしたい」と業者に伝えると「書類にサインしているので、できない」と断られた。』といった購入業者とのトラブルが増えています。★購入業者から電話がかかってきても、安易に訪問を承諾しないようにしましょう★突然訪問してきた購入業者は家に入れないようにしましょう★話になかった貴金属の売却を迫られたら、きっぱり断りましょう★書面をしっかりと確認しましょう★訪問購入はクーリング・オフの適用があります。トラブルになった場合や不安がある場合は、

淡路市消費生活センターまで 0799-64-0999

みんなの集い場 『自分さがしの森』に 来てみませんか?

【開催日時】 令和5年 12月1日(金)
10:00～14:00
【開催場所】 プレイパーク冒険の森
(淡路市楠本314)

★時間内の出入り自由です。お気軽にお立ち寄りください。

★2か月に1回(偶数月第1金曜日)開催しています。

12月はお好み焼き?ピザ?企画中です!

最近はお好まれた方のリクエストで「お好み焼き」を作ったり、いつものピザづくりから自由なアイデアで楽しい時間を過ごしています。

参加費：500円(材料代)

☆調理以外にも、森の整備や薪のこしらえなど、あな

『自分さがしの森』は“ひきこもり”をテーマにした・・・

- ・みんながってみんないい場所です。
- ・閉じ込めがちな気持ちと身体を開放し、森の自然に任せて緩やかに過ごせる場を目指しています。

車がないから参加しにくいなど、なんでもご相談ください。
社協いわや ☎ 0799-72-0084

“淡路市共同募金委員会からのお知らせ”



10月3日(火)にイオン淡路店にて、淡路市共同募金委員会の役職員が街頭募金を行いました。住民のみなさんに共同募金の果たす役割をご理解いただき、自発的な意志をもって募金にご賛同いただけるように、実施しています。淡路島デザイン「赤い羽根オリジナルあわ神バッジ」や兵庫県共同募金会マスコットグッズもご紹介させていただきました。

地域支えあいセンターいわや運営委員も、10月1日(日)に道の駅あわじにて街頭募金を行いました。みなさんからお預かりした募金は、地域の身近なところで活用させていただきます。たくさんの方々にご協力いただきありがとうございました。



ちょっと聞いて! 岩屋あんな話 こんな話 No.16



住民記者さんが取材!
地域の住民記者さんが取材した、そのときその人にしかできない話を紹介していきます。
(聞き手：江戸信夫・松帆愛子)ライター：江戸

「人づくり・まちづくり」 イベントでまちづくり ② ボーイスカウトみたいな活動のはなし -安藤浩司さん-

青少年の育成と、地域ぐるみの教育力をつけることを目的に、それまでには岩屋になかった『ジュニアリーダー』というものを立ち上げた。それは中高生が『子供会』のリーダーになって、地域の青少年が地域に望まれて何かの手伝いをするという取り組み。多い時は40人ぐらいいった。例えば淡路町の子ども会でキャンプの企画があると、中学生がキャンプファイヤ

の指導役を担う。言葉が少ない引っ込み思案な子ども、何かをやり遂げたら顔つきが変わってきた。周りのおっちゃん、おばちゃんから「こないだ、おおきによ」とよく言われた。活躍したら顔が売れるし、地域からの評価も得られる。非行になんか走らへん。それが地域の教育力や。青少年育成大会などでは、いかに地域の人々が関わる活動の場をつくるかと言われる。『子供会』に関わってくれる子どもが、どんだけ生き生きと岩屋で活動するか実現したいと思っていた。活躍は自分で育ていける力を引き出すんや。

■淡路市からお願い【資源ごみの焼却量を削減するために】
この広報誌が不要となった際には、資源ごみその他の紙類としてリサイクルにご協力をお願いします。

